

シンポジウム

心に残る音風景

忘れ得ぬ音、記憶の中の響き、いつもの風景、一期一会の音模様……

人それぞれ 心に残る音風景は異なることでしょう

きれいな音、美しい音ばかりとは限らないかもしれません

音風景の多様性を共有し、相互理解を深め、未来につなげるため、心に残る音風景について、

皆さんからご応募いただいた「心に残る音風景」の写真・動画に耳を澄まし、

ともに考え、学ぶシンポジウムです

第1部 「心に残る音風景」写真・動画コンテスト「表彰式」

入賞 (敬称略)

【写真の部】 <優秀賞> 「松戸 さくら通りの切り株」(黒崎孝一)
<佳作> 「新橋 パチンコ屋だったところ」(黒崎孝一)
<佳作> 「放課後」(正司琴菜)

【動画の部】 <優秀賞> 「朝のリズム」(仁平祥介)

(一社)日本サウンドスケープ協会が
設立30周年記念事業の一つとして、
2023年10月から2024年1月
にかけて公募した

「心に残る音風景」写真・動画コンテストの、
入賞作品紹介・結果発表・表彰・講評
・ディスカッションを行います

講評・パネルディスカッション 「心に残る音風景」をめぐって



川崎義博(サウンドアーティスト)
京都市立芸術大学
芸術資源研究センター



坪能由紀子(音楽教育)
日本女子大学名誉教授



鳥越けい子(総合文化政策・
サウンドスケープデザイン)
青山学院大学名誉教授



小西潤子(民族音楽学)
沖縄県立芸術大学教授



司会 土田義郎(建築学)
金沢工業大学
建築学部建築学科教授

第2部 招待講演「沈黙と響きの〈あいだ〉—サウンドスケープに寄せて」 木岡伸夫氏 (関西大学名誉教授)

風景哲学・風土論研究の第一人者、
木岡伸夫氏による音風景への初の考察
基本風景、原風景、表現的風景、
音風景の形(かたち)と型(かた)
沈黙と響の〈あいだ〉について



木岡伸夫(地理哲学・風土学)
関西大学名誉教授

2024 6/16 (日)

13:30~17:10

放送大学附属図書館AVホール

(千葉市美浜区若葉2-11)

入場無料 主催:(一社)日本サウンドスケープ協会、放送大学千葉学習センター音環境文化ゼミ

お問い合わせ:(一社)日本サウンドスケープ協会「心に残る音風景」シンポジウム実行委員会(兼古)

